

5
1
1
1

秘

記録件名
大連支隊
支隊

昭和二年七月一日

北滿ニ對スルソウイエト聯邦ノ企圖ニ就テ

(分類 13. 2. 0. 2-1)

參謀本部

S

13402

0076

0076

REEL No. A-0377



アジア歴史資料センター

北滿ニ對スルソウイェト聯邦ノ企圖ニ就テ
東支鐵道カソウイェト本國ト沿海州ト連絡ノ要衝ニ當リ政治經濟軍
事ト重要ノ意義ヲ有スルニ至ラス對支赤化特ニ倒張作霖計畫
ノ據点タハ多言ヲ要セザル所ナリ

從テソウイェト聯邦ハ先年ノソ支並ニ奉協定以來頼ニ北滿勢
力ノ進展ヲ策シタレモ如何ニシテ内ニ於テハ國力ノ復興民心ノ安
定未タ成ラズ外ニ於テハ日ソノ衝突ヲ虞ルル所アリ為ニ
露骨ナル行動ニ出ツル能ハス最近ニ於テハソ側ノ對外
威力ノ大ナリタルヲ看取セル張作霖ノ東支壓迫ニ對シ
寧口受動ノ位置ニ在リ僅ニ東支沿線ニ於ケル擾亂施設
並露支國境兵力集中說ノ流布ニヨリ張作霖ノ徹底的東
支鐵道乘取ニ對抗セトシソツツナルノ狀況ニ在リ
然レトモ張作霖勢力ノ消長並彼レノ態度如何ニヨリ所

謂勢ノ激スル所北滿擾亂ヲ惹起スルコトナキヲ保セス
又國力ノ復興ニ伴ヒ特ニ帝國ノ對滿態度消極ナルニ至
ランカ彼レ傳來ノ北滿進展策ヲ復活シ来ルハキハ蓋シ
想像ニ難カラザル所ナリ
以下北滿ニ於ケルソウイェトノ企圖並ソ支關係ニ就テ
若干述フル所アリトス

S 13402 0077-2

S 13402 0077-1 0077

一、奉抗第

一、奉抗第
支、奉條約より政府ハ支那側ニ對シ東支鐵道
ニ於ケル政府一部ノ權利ヲ回復セリ即チ東支鐵道ハ
純然タル商事會社ナルモ支兩國ノ管理トシ重要職
員ハ支政府ヨリ夫々任命シ特ニ東支鐵道
ノ實權ヲ有スル管理局ハ支側ノ掌握スル所ニシテ又
東支鐵道利益金ノ如キ支側銀行ニ於テ保管シカハ狀
況ナリ而モ支側ハ以テ足リトセズ更ニ勢力ノ
進展ヲ策シ奉協定ニ基ク細國會議ニ於テ沿線赤色
職業同盟ノ承認並勞農式教育ノ施行ヲ要求スル所
然ルニ一方張作霖亦東支鐵道ノ經濟的價値大ナルト
政府ノ反張的態度ニ鑑ミ同鐵道回收ノ意アリ前記

S 13402 0078 0078

細國會議ニ於ケル支側ノ要求ヲ容レサルノミナラス
昨年八月ニハ東支鐵道所屬船舶ノ沒收及東支學務課
ノ閉鎖ヲ命ジ昨年末細國會議ハ中絶ノ姿ニ在リ
而モ北京ソウイェト大使館附近武官室其他ノ家宅搜索事
件ヲ動機トシ支外交關係断絶以來張作霖ハ更ニ東
支鐵道ノ乘取ヲ断行スルヤモ測ラレサハ形勢ニ在リ
二、東支沿線ニ於ケルソウイェト政府ノ施設
前述ノ如ク東支沿線ニ於ケル支ノ抗爭ハ漸次深刻
化シツツカハカソウイェト政府ハ積極的ニハ東支沿線
ノ勢力進展並張作霖倒壞ノ為又消極的ニハ張作霖ノ
東支鐵道乘取ニ對抗スル為秘ニ沿線赤化並擾亂ノ準
備ヲ講シアリ而シテ之力ヲ為利用シカハ組織及手段ハ
赤色職業同盟ガペウ秘密民兵團宣傳機關ノ組織及支

S 13402 0079

那労働者馬賊不逞鮮人ノ買收利用等トス
人赤色職業組合

赤色職業組合ハ對外赤化ノ主要機關ナルカ東支沿線
赤色職業組合ハ沿線各都市部落ノ各種職業組合
及東支鐵道従業員組合ヲ總括スルモノニシテ本
部ヲ哈市ニ置キ組合員約二万ヲ算ス
之縣ケベウ

北滿ニ於ケルケベウノ本據ハ哈市總領事館内ニ
在リテ滿州里チチハ山海拉甫ホウラニチチヤノ
各領事館並各種組合鐵道廳内ニカレケベウヲ統
轄ス

其總數ハ不明ナルモ哈市本部ニ於テモ三十八名
ヲ算スルニ見テ其一斑ヲ窺フヲ得ヘク而シテ此
等ケベウ網ハ東支鐵道従業員カ罷業等ヲ断行ス

ハ場合因下支那ニ於ケル糾察隊ノ如キ任務ヲ遂
行スルモノト判断セラル

3. 軍事施設

イソウイ工止政府ハ東支沿線ニ職業組合員(青年共
産黨モ含ム)ヨリ成ル民兵團ヲ秘密ニ組織シ尚
裝束軍人ヲ以テ其幹部トス本編隊内ニカレ人
員ハ約三千七百トス尚時期切迫ノ場合ハ露支
國境ヲ通シ裝束軍人ノ侵入ハ少ヲ豫想セナル
ハカラス既ニ東支沿線ニ潜入セシ赤軍々人ハ
約二三〇ニシテ内九〇名ハ東支鐵道ニ奉職シ
アリ

ハ沿線民兵團ノ為東支沿線ニ秘密ニ格納シカレ
武器ハ大要次ノ如シ



13403

0081



13403

0080

0079

小銃 九〇〇
 機銃 若干
 拳銃 一〇〇〇
 手榴彈 六〇〇
 尚滿州里附近露領内之ハ多数ノ武器ヲ格納シ
 アリ

4. 宣傳
 各種ノ機關ヲ利用シ東支沿線 特ニ支那軍隊地
 勞働者赤化ニ努力シツカハハ明ニシテ宣傳文
 書等ノ押収セラレタル件數フハ之違カラス
 5. 支那便衣隊
 尚南支ニ於ケル宣傳及便衣隊ノ成功ニ鑑ミ以テ政
 府ハ武漢政府ト協力シ主トシテ浦潮方面ヨリ北

滿ニ便衣隊ヲ入レアルコト確實ニシテ其數不明
 ナルモ各種ノ情報ヨリ判斷シ二百五十名ヲ超ス
 三對支武力干渉ト極東兵備(附圖参照)
 過般北京ニ於ケルハ「聯邦大使館附屬建物ノ家宅搜索
 事件」ニ際シ「聯邦ハ内外ノ情勢上武力干渉ヲ行ハ
 サルハキヲ聲明セリト雖一方ニ於テハ支那行義勇兵
 二千ヲ收養ヨリ核具加爾州ニ輸送シ又極東露領ニ於
 テ支那人等ヲ募集シテ若干部隊(約一〇〇〇)ヲ編成シ其
 一部ヲ外蒙ニ送り其他極東露領駐屯部隊ニ對シ編成
 改正ニ基テ整備充實ヲ實施シアル如シ
 是レ以テ政府力万一場合ヲ顧慮セザルニモヨルヘシト
 雖其主目的ハ内民衆ニ對シ外支那其他外國ニ對シ

S 13402 0083

S 13402 0082 0080

ウイエ上聯邦ノ無カナリサルヲ示シ若シ支那側ニシテ
無暴ノ舉ニ出シテシカ東支沿線ノ擾乱ト相俟テ極東露
領並外蒙方面ヨリ断乎タル處置ニ出ツハキヲ暗示セ
ントスルニアリト觀察セラル

之ヲ要スルニシテウイエ上聯邦ハ終始一貫北滿勢力進展
ヲ企圖シカリト雖現下寧口消極的態度ニ出テアルハ支
那ノ一般形勢ソウイユト側ニ不利ナルモノナルノミナリ
ス北滿ニ於ケル露骨ナル行動カ帝國ト衝突ヲ来スヲ虞
ルルニヨルモノニシテ過般在莫斯科田中大使ニ對スル
カリ一ニシノ談ニ據ルモ之ヲ判断スルニ難カクサルナ

然レトモ今後張作霖ノ勢力失墜スルカ或ハ反對ニ張力
東支鐵道ノ乘取ヲ策スル如キ場合ニハ公然タル武力的

干渉ハ別トシ少クモ東支沿線ノ擾乱ヲ策スルハキハ想像
ニ難カクサル所ニシテ而モ帝國ノ對支ニ政策力之ニ多
大ノ影響ヲ及ホスヤ論ヲ俟タサルナリ
即チ帝國カ滿蒙ニ於テ積極断乎タル政策ニ出ツルハ是
レ現下並將來ニ於ケル北滿ノ擾乱並側ノ北滿進展企
圖ヲ未然ニ防ク最良ノ手段ナリトス

0082
13402 0085

13402 0084 0081

秘

北滿ニ對スルソウイエト聯邦ノ企圖ニ就テ

昭和二年七月一日

參謀本部

0083

REEL No. A-0377



北滿之對スルソウイェト聯邦ノ企圖ニ就テ
東支鐵道カソウイェト本國ト沿海州トノ連絡ノ要衝ニ當リ政治經濟軍
事上重要ノ意義ヲ有スルニ至ラヌ對支赤化特ニ倒張作霖計畫
ノ一據点タルハ多言ヲ要セザル所ナリ

從テソウイェト聯邦ハ先年ノソウ支並ソウ奉協定以來頼レ北滿勢
力ノ進展ヲ策シタルモ如何ニシテ内ニ於テハ國力ノ復興民心安
定未タ成ラズ外ニ於テハ日ソノ衝突ヲ虞ルル所アリ為ニ
露骨ナル行動ニ出ツル能ハス最近ニ於テハソウ側ノ對外
威力ノ大ナリサルヲ看取セル張作霖ノ東支壓迫ニ對シ
寧口受動ノ位置ニ在リ僅ニ東支沿線ニ於ケル擾亂施設
並露支國境兵力集中說ノ流布ニヨリ張作霖ノ徹底的東
支鐵道乘取ニ對抗セトシツツアルノ狀況ニ在リ
然レトモ張作霖勢力ノ消長並彼レノ態度如何ニヨリ所

謂勢ノ激スル所北滿擾亂ヲ惹起スルコトナキヲ保セス
又國力ノ復興ニ伴ヒ特ニ帝國ノ對滿態度消極ナルニ至
ラシカ彼レ傳來ノ北滿進展策ヲ復活シ来ルヘキハ蓋シ
想像ニ難カラザル所ナリ
以下北滿ニ於ケルソウイェトノ企圖並ソウ支關係ニ就テ
若干述フル所ヲラントス

0084

一、奉抗爭

支那の奉抗約ヨリ政府ハ支那側ニ對シ東支鐵道
ニ於ケル政府一部ノ權利ヲ回復セリ即チ東支鐵道ハ
純然タル商事會社ナルモ支兩國ノ管理トシ重要職
員ハ支政府ヨリ夫々任命シ特ニ東支鐵道
ノ實權ヲ有スル管理局ハ側ノ掌握スル所ニシテ又
東支鐵道利益金ノ如キ側銀行ニ於テ保管シカハ狀
況ナリ而モ側ハ以テ是レトセズ更ニ勢力ノ
進展ヲ策シ奉協定ニ基ク細國會議ニ於テ沿線赤色
職業同盟ノ承認並勞農式教育ノ施行ヲ要求スル所カ
リ

然ルニ一方張作霖亦東支鐵道ノ經濟的價値大ナルト
政府ノ反張的態度ニ鑑ミ同鐵道回收ノ意アリ前記

細國會議ニ於ケル側ノ要求ヲ容レサルノミナラス
昨年八月ニハ東支鐵道所屬船舶ノ沒收及東支學務課
ノ閉鎖ヲ命シ昨年末細國會議ハ中絶ノ姿ニ在リ
而モ北京ソウイェト大使館附武官室其他ノ家宅搜索事
件ヲ動機トシ支外交關係断絶以來張作霖ハ更ニ東
支鐵道ノ乘取ヲ断行スルヤモ測ラレサハ形勢ニ在リ
二、東支沿線ニ於ケルソウイェト政府ノ施設
前述ノ如ク東支沿線ニ於ケル支ノ抗爭ハ漸次深刻
化シソウパルカソウイェト政府ハ積極的ニハ東支沿線
ノ勢力進展並張作霖倒壞ノ為又消極的ニハ張作霖ノ
東支鐵道乘取ニ對抗スル為秘ニ沿線赤化並擾亂ノ準
備ヲ講シカリ而シテ之カ為利用シカハ組織及手段ハ
赤色職業同盟ケバウ秘密民兵團宣傳機關ノ組織及支

那労働者馬賊不逞鮮人ノ買収利用等トス
赤色職業組合

赤色職業組合ハ對外赤化ノ主要機關ナルカ東支沿線
赤色職業組合ハ沿線各都市部落ノ各種職業組合
及東支沿線従業員組合ヲ總括スルモノニシテ本
部ヲ哈市ニ置キ組合員約二万ヲ算ス
又縣ゲバウ

北滿ニ於ケルゲバウノ本據ハ哈市總領事館内ニ
在リテ滿州里チチハ山海拉爾木ヲニチナヤノ
各領事館並各種組合鐵道廳内ニカレバウヲ統
轄ス

其總數ハ不明ナルモ哈市本部ニ於テモ五十八名
ヲ算スルニ見テ其一斑ヲ窺フヲ得ハク而シテ此
等ゲバウ網ハ東支沿線従業員カ罷業等ヲ断行ス

ハ場合因下支那ニ於ケル糾察隊ノ如キ任務ヲ遂
行スルモノト判断セラル

3. 軍事施設

イゾウイエ止政府ハ東支沿線ニ職業組合員青年共
産黨モ含ムヨリ咸ハ民兵團ヲ秘密ニ組織シ尚
裝束軍人ヲ以テ其幹部トス本編隊内ニカレ人
員ハ約三千七百トス尚時期切迫ノ場合ハ露支
國境ヲ通シ裝束軍人ノ侵入ハ少ク豫想セサル
ハカラス既ニ東支沿線ニ潜入セシ赤軍々人ハ
約二三〇ニシテ内九〇名ハ東支沿線ニ奉職シ
アリ

口沿線民兵團ノ為東支沿線ニ秘密ニ格納シカレ
武器ハ大要次ノ如シ

小銃 九〇〇
 機銃 若干
 拳銃 一〇〇〇
 手榴彈 六〇〇
 尚滿州里附近露領内之ハ多数ノ武器ヲ格納シ
 アリ

4. 宣傳
 各種ノ機関ヲ利用シ東支沿線 特ニ支那軍隊並
 勞働者赤化ニ努力シツツアルハ明ニシテ宣傳文
 書等ノ押収セラルル件数ヲハニ違カラス
 分支那便衣隊
 尚南支ニ於ケル宣傳及便衣隊ノ成功ニ鑑ミソソ政
 府ハ武漢政府ト協力シ主トシテ浦潮方面ヨリ北

滿ニ便衣隊ヲ入レアルコト確實ニシテ其數不明
 ナルモ各種ノ情報ヨリ判斷シ二百五十名ヲ超ス
 アルモノト判斷セラル

三. 對支武力干涉ト極東兵備(附圖參照)
 過般北京ニ於ケルハ聯邦大使館附屬建物ノ家宅搜索
 事件ニ際シハ聯邦ハ内外ノ情勢上武力的干涉ヲ行ハ
 サルハキヲ聲明セリト雖一方ニ於テハ支那行義勇兵
 二千ヲ改竄ヨリ後貝加爾州ニ輸送シ又極東露領ニ於
 テ支那人等ヲ募集シテ若干部隊(約一〇〇〇)ヲ編成シ其
 一部ヲ外蒙ニ送り其他極東露領駐屯部隊ニ對シ編成
 改正ニ基ク整備充實ヲ實施シアル如シ
 是レソ政府力万一場合多顧慮セルニモヨルヘシト
 雖其主目的ハ内民衆ニ對シ外支那其他外國ニ對シソ

0087

ウイ工上聯邦ノ無カナリサルヲ示シ若シ支那側ニシテ
無暴ノ舉ニ出テシカ東支沿線ノ擾乱ト相俟テ極東露
領並外蒙方面ヨリ断乎ハ處置ニ出ツハキヲ暗示セ
ントスルニアリト觀察セシム

之ヲ要スルニ「ウイ工上」聯邦ハ終始一貫北滿勢力進展
ヲ企圖シカリト雖現下寧口消極的態度ニ出テハ支
那ノ一般形勢「ウイ工上」側ニ不利ナルモノナルノミナリ
ス北滿ニ於ケル露骨ナル行動カ帝國ト衝突ヲ来スル虞
ルルニヨルモノニシテ過般在莫斯科田中大使ニ對スル
「カリ」ニ「談」ニ據ルモ少判断スルニ難カサルナ

然レトモ今後張作霖ノ勢力失墜スルカ或ハ反對ニ張カ
東支鐵道ノ乘取ヲ策スル如キ場合ニハ公然タル武力的

干渉ハ別トシ少クモ東支沿線ノ擾乱ヲ策スルハキハ想像
ニ難カサル所ニシテ而モ帝國ノ對支「政策」力之ニ多
大ノ影響ヲ及ホスヤ論ヲ俟タサルナリ
即チ帝國カ滿蒙ニ於テ積極断乎タル政策ニ出ツルハ是
レ現下並將來ニ於ケル北滿ノ擾乱「側」ノ北滿進展企
圖ヲ未然ニ防ク最良ノ手段ナリトス

0089

0088

電信寫

秘

一〇四七三 暗 漢口 本省 七月廿八日後着 亞

田中外務大臣 田中總領事代理

第四三五號

「ボロジン」ハ露支隨員數名ト共ニ二十七日午後四時特別列車ニ
テ當地發洛陽ニ向ヘリ同地ニ於テ馮玉祥ト打合ヲ爲シ更ニ關海線
ニ依リ西安ニ出テ自動車ニテ庫倫經由歸國ノ豫定ナリト汪精衛以
下要人多數停車場ニ見送リタリ
北京 上海 廣東へ轉電シ長沙、宜昌 九江へ暗送セリ

S 13402 0086 0090

REEL No. A-0377

アジア歴史資料センター

1340.2-6
通馬

東京電局

謀報機密第七九六號
昭和二年九月十五日
在上海
總領事 矢田 七 太

外務大臣男爵 田中 義 一 殿
在南支ソゾイエト代表者名簿送附ノ件
標記名簿ハ駐上海英軍々司令部情報係ノ調査ニ係ルモノニシテ氏名等ノ
綴及發音其他ニ多少ノ相違有之様存ゼラルルモ其等ハ後日ノ調査ニ待ツ
コトトシ一先何等御參考運報告ス
本信寫送付先 在支公使

歐米局

第一課

加藤 平田 松島

附屬書添附

在上海日本總領事館

S 13402 0088 0092

電送第 6366 號
2年9月8日 9時 發

電信課長	主任 第一課	起草大正 昭和二 年七月三十日	(原議用紙甲) 國納
管 亞細亞局長	任 第一課		
件 本ロジニ歸國ニ關スル件		名込綴	松文
宛 在露 田中 大使		發	田中 大臣
暗	第二二八 號		
在漢口總領事來電第四三五號			
(右電文其儘轉電ノ事)			
「ノボシビリスケ」へ轉電アリタシ			
電信案			
外務省			

S 13402 0087 0091

一九二七年八月二十二日
 南支ニ於ケルソウエートロシヤ代表者名簿

ボロディン (BORODIK) 西安府 (馮玉祥) 政治代表
 ガレン (GALEN) 武漢政府、軍事代表 上海ヲ経テ浦塩ニ歸
 グミラ (GMIRA) 武漢軍事指導員、ソウエート革命委
 員會代表 旧塹國將校
 セディッチケーノシツク (SEDIICH-KOSICK) 馮玉祥軍事顧問、
 西安ヨリ上海ニ來ルベシ 辭職、政策変更、爲

13402 0089 0093

アンダーセン (ANDERSEN) 馮玉祥軍事顧問 在寧夏
 ウスメノフ (USMENOFF) 馮玉祥砲兵顧問 在洛陽
 クラフト (KRAFT) 馮玉祥軍事 (航空科) 顧問 在洛陽
 マリノ (MARINO) 馮玉祥砲兵顧問 在洛陽
 ミカエル、セルギエフ (SERGIEV MICHAEL) 馮玉祥騎兵顧問 在洛陽
 セイフリン (SEIFULIN) 馮玉祥軍事顧問 在鄭州馮軍内

13402 0090

アルベルト (ALBERT) (ALBERT)
 師 技 化 學 專 門 在 鄭 州
 コルフ (KORF)
 七月 上海ヲ經テ 浦 塩
 クック (COOK)
 八月 上海ヲ經テ 北 滿
 コイン (COIN)
 軍 事 雜 報 員
 八月 上海ヲ經テ 北 滿
 カシリン (KASHIRIN)
 八月 上海ヲ經テ 蒙 古
 騎 兵 將 校
 アルベルト、ルービン (RUBIN, ALBERT)
 ブリン 秘書 上海ヲ經テ 本 國
 =
 ブリン、チニヤニン (BRIN-TSUKIYANIN)
 國 際 共 産 黨 代 表 南 京 擾 亂 煽 動 員
 上海ヲ經テ 本 國
 ブリン、チニヤニン (弟)
 ゲ、ペ、ウ 員 八月 上海ヲ經テ 浦 塩
 フマラ (HUMARA)
 ホローグイン 助手 浦 塩
 ニキタン (NIKITAN)
 吳 佩 孚 軍 事 顧 問 國 氏 革 命 軍 第 三
 軍 所 屬 八月 上海 經 由 本 國
 ヴィシユニコフ (VISHNYKOFF)
 廣 東 政 政 顧 問 一 時 上 海 滯 在
 ペルリン (PERLIN)

S 13402 0092

S 13402 0091 0094

ガリン司令部内總指揮 上海滞在
 グールスキイ (Goureski))
 廣東ゲパウ主任 一時上海滞在
 バラトフ (Baratof))
 上海ゲパウ員 使命ヲ帯ビテ上海へ
 ブロイン (Broin))
 北京秘密代表 八月南京へ
 ヤノウスキイ (Yanovsky))
 ランスコイ輔佐官
 ランスコイ (Lanskoy))
 上海總領事館附武官 諜報將校
 コムミ (Kommi))
 前駐上海軍事代表兼 諜報將校 八月浦
 ウエツバー (Weger, Weger))
 龍華兵工廠軍事代表 八月支那ヲ去ル
 ウイルデ (Wilde))
 第三國際代表 在横口
 ベルメン (Beremen))
 元横口ニテホローガン助手 上海領事館
 秘書ヲ命セリレ 八月着任
 コズロフスキイ (Koslovsky))
 第三國際代表 上海領事
 ザスラウスキイ (Zaslavsky))
 第三國際代表 上海臨時滞在
 アシヤーニン (Ashinin))
 在上海共産黨運動員

S 13402 0094

S 13402 0093 0095

ポポフ (POPOFF)

在支ダバウ代表 通信部長

ワシリエフ (VASILIEV)

上海支那共産黨運動員

ポルトノフ (PORTNOFF)

在上海第三國際代表

シマコフスキー (SIMAKOVSKI)

在上海ダバウ代表 上海副領事

(本名、現職有ルヤ否ヤ未ダ確報ヲ得ルニ其儘

記載ス)

パレトニク (PARETNIK)

在上海ソウエト國家管理部代表

ステパノフ (STEPANOV)

在上海海軍将校「ブリロット」ト共ニ活動寫真

技師トシテ活動

ブリオツキー (BRIOT)

獨逸人

莫斯科駐在革命寫真部代表

集會等ノ寫真ヲ撮ル「ステパノフ」ト共ニ活動

チエレンツキイ (CHERENTSKI)

獨逸旅行券ヲ有ス

漢口ニ赴ク為上海着「ボローガン」部下ノ運動員

オルシエウスキイ (OLSHEVSKI)

元武漢政務衛生顧問 在上海

ミリン (MILIN)

在上海商務官

S

13402

0096

S

13402

0095

0096

ブロンスキイ (BRONSKI) 八月上海經由日本へ
 ゲペウ代表
 ロトスーロトフ (LOTOS-LOTOFF) 元蒋介石總司令部附通譯
 ウスレンド (ウオラント) (VSELEND (VOLAND)) 在南京ソート軍事代表 本國帰還
 「ドロウスキイ」 (DOROVSKI) 別名ヲ有シ又北
 軍「ボゴレポフ」 (BOGOLEPOFF) 名ニ依テ知ラレ
 エイスリス (EISLIS) 短波無線技師 七月上海ヲ去ル
 ポーロ (Polo) 馮玉祥軍事作業員 在上海
 ヴィクトロフ (VIKTOROFF) 軍事作業員 八月支那ヲ去ル
 スクテン (SC TEN) 前財政顧問 在上海
 プロフェッサー
 イラシエヴィツチ (ILASHEVITCH) 武漢政務顧問 北支那へ
 プロフェッサー
 フェボロフ (FEVLOOFF) 經濟譯報者 北支那へ
 ウエルソツキイ (VERSOFSKI) 武官 八月浦塩へ
 サブロフ (SABUROFF) 武漢政務顧問 アツタツヒ武官

S 13402 0098

S 13402 0097 0097

ガイクトロフ (Viktoroff)

軍事顧問 九江ヨリ上海ニ来ル

スウィデルスキー (Svidenski)

上海駐在武官 南昌ヨリ

マナリク? (Manalik)

元朱塔徳軍事顧問 南昌
今蒙古ニ在リ

チエチエア (Chechia)

武官 上海經由本國へ

フィリポフスキー (Philipovski)

Ditto

ライエル (Rayer)

在上海ゲバウ

ミカエル ヴォーリン (Volin Michael)

六

馮玉祥 軍ヨリ上海へ

ゴウシエチン (Goushtin)

将官 在上海

シエラグイン (Shelavin)

全上

コソラポフ (Kosolapoff)

財務代表 日本經由北支、目下浦塩ニ

ムーシン (Mussin)

第三国際要人 神戸經由北支那へ

ペテルソン-ダーリン (Peterson-Dalin)

青年共産運動宣傳員 神戸經由北支へ

ゲケル (Geker)

軍事専門家 武漢ヨリ上海ニ八月上海ヲ去ル

S

13402

0100

S

13402

0099

0098

アレクサンドル・ゲケル (GELKER, ALEXANDER)

北支那へ

メラメド (MELAMED)

上海領事館秘書 元北京大使館外交官

首班 浦塩へ

ムルナア (MURNER)

一時上海に滞在後北支へ

ヘンリー・カン (KANE, HENRY)

政治運動、為北支へ

ウオイテンスキー (VOITINSKI)

国際共産黨要人 李立山ト共ニ北支へ

プルーシール・アルノルド・プシーアン

(PRUSYNIN - ARNOLD - PUSYAN)

北支へ政治運動、タメ

イワン・ヴォーリン (VOLIN, IVAN)

元廣東参謀長 在上海

グレイボフ・プリーマコフ (GLEBOFF, PREEMAKOFF)

哥薩克アタマン 八月上海ヨリ蒙古へ

グレイ (GREY)

廣東海軍顧問 八月浦塩へ

アルハンゲル船務長、任命ヲ受ク

カラウレニク夫妻 (KARULNIK & wife)

国際共産黨代表 北支那へ

ロート (ROTH, R. ROT)

政治代表 支那ヲ去ル

チエレンテンコ (THERSTHENKO)

S

13402

0102

S

13402

0101

0099

化学者

七月支那ヲ去ル

コエウニコフ (KOJEVNIKOFF)

廣東模ロラテイオ主任

本國ハ

ナムメルマン (NAMMERMAN)

經濟専門家

上海駐在

ブロンスカヤ (BRONSKAYA)

「チエクレム」ブロンスキイ妻

ゲ、ペ、ウ附屬外交クローリエル

臨時北京出張

ウァネツキイ (VANETSKI)

軍事代表

沙市ヨリ國外ハ

アブナルド (ABNALD)

廣東軍事顧問主席

支那ヲ去ル

マミン (MAMIN)

軍事諜報者

北京ハ

トルストイ (TOLSTOY)

飛行家

七月支那ヲ去ル

セルギエフ (SERGIEV)

南支航空班長

七月支那ヲ去ル

グリシン (GRISHIN)

國際共產黨代表

北支那ハ

プロタソフ (PROTASOFF)

武官

北支那ハ

クーパー (COOPER)

國際共產黨代表

七月日本ハ

イスマイルーゼード (ISMEL ZADE)

公使、第三國際代表

支那ヲ去ル

S

13402

0104

S

13402

0103

0100

ラウベルグ (LAUBERG) 蒙古へ
 武官
 スタロダブ (STARODUB) 七月浦塩へ 庫倫へ赴く
 政治運動員
 ダメンスキイ (DAMENSKI) 庫倫へ
 Pisto (Pisto) 庫倫へ
 ベング (BERG) 庫倫へ
 ウコロフ (UKOLOFF) 七月哈市へ
 在上海ゲバウ代表
 ゴルバチエフ (GORBATIUK) 一時浦塩へ
 ゲバウ代表
 ブーロフ (BUROFF) 庫倫へ
 ネロデンコ (NERODENKO) 庫倫へ
 クレブゴフ (KRUGLOFF) 七月上海へ
 武官
 リネーウスキイ (LINEIVSKI) 庫倫へ
 エン部及農民部代表
 ラチコウスキイ (RATCHKOVSKI) 庫倫へ
 廣東 アツクシエ 庫倫へ
 ホロシン (POROSHIN) 日本へ
 ロウリイニコフ (LOVAIJNIKOFF) 庫倫へ
 工兵将校 七月上海へ
 ナドイエゲン (NAJEDIN) 北支那へ
 国際共産党代表

S 13402 0106

S 13402 0105 0101

ウエブリントセーフ (VERPINTSEV)

「ボロヂン」代表トシテ上海ニ但シ八日本國ニ
去リントモエヒ又妻、ミ出發本人アリトモエフ。

イリン (ELIM)

文書課主任

嵩州、

ヨルク (JOLK)

農民運動代表

漢口

マネーウイチ (MANEIVITCH)

浦塩ゲ、バ、ウ代表

上海支那官憲ヨリ追放セラレ

アロンスタム (ARONSTAM)

タス及國際共產黨代表

北京、

ミツツエンフェルド (MITSSENFELD)

國際共產黨代表

七月北支那、

イムセンツキイ (IMSHEENTSKI)

在上海ゲ、バ、ウ

マセイウイチ (MASHEIVITCH)

駐上海ラビヤノ代表

(Kushnik) 吟社及莫斯科ソウエート組織

部右翼領袖

ウオロシン (VOLOSHIN)

「ボローゲン」秘書

ボロゲント共ニ去ル

ムラウイエフ (MURAVIEV)

上海軍事代表

ザプルーツスキイ (ZAPRUOTSKI)

上海ゲ、バ、ウ主任

S 13402 0108

S 13402 0107 0102

フィンケルゴルド (FINKERGOLD))
 上海 ゲ. パ. ウ
 ボゴルボフ (BOGOLUBOFF))
 武官 七月呼倫貝京へ
 リマノフ (LIMANOFF))
 農林運動役員 元米培徳顧問
 ウォーリン (VOLIN))
 国際共産黨政治代表 北京へ
 アウロフ (AUROFF))
 湖北駐在 北支那へ
 ウィシニニコフ (VISHNYKOFF))
 砲兵及機関銃専門家
 アンドレータフ (ANDREICHIK))
 国際職工同盟代表 六月上海へ去ル
 七月去ル
 ロゾウスキイ (LOZOVSKI))
 汎太平洋洋會議宣傳者
 ブードニク (BUDNIK))
 国際共産黨代表 北支那へ
 ホルンス (BORNS))
 プロフインタン 在天津
 ボロウオイ (BOROVY))
 支那共産黨員 在天津
 キリシエーフ (KIRISHIEV))
 「ボローヂン」秘書 在天津
 アイシニン (EISHININ))
 漢口共産黨代表

S 13402 0110

S 13402 0109 0103

ジュゲリ (DJUGELI) 共産黨執行委員東方科長 漢口
 ジルベルト (ZILBERT) 國際共産黨代表 哈市、
 ストイラア (STOYLER) 北支、
 ツウエトコフ (TSVETKOV) カムキマツカ、
 ソウエート 國家管理部代表
 カラチエフ (KALACHIEV) 蒙古、
 テスマン ラスコリニコフ (TESSMAN RASKOLNIKOFF) 在漢口 海軍代表
 ルードニエフ (RUDNIEV) 将官 在上海
 イワノフ リーノフ (IVANOV-RINOFF) 将官 在漢口
 ボルデリエフ (BOLDERIEF) 将官 蒙古、
 ラドケウイチ (RADKEVITCH) 将官 蒙古、
 アチメトフ ザカロフ (ACHMETOFF-ZAKAROFF) 将官 蒙古、
 エ兵将校 齊々哈爾、日本語ヲ解ス
 クズネツオフ (KUZNETSOFF) 電信暗号専門家
 フボローガン 附電信暗号専門家
 滿州、
 ベラエコフ (BALAHEKOFF)

S

13402

0112

S

13402

0111

0104



「ボロヤン」秘書 浦塩へ

アマール (AMBER) 庫倫政治顧問 上海ニ来リ再び蒙古へ

ドブローベル (DOBROJIBER) 国際共産黨代表 在上海

ゾリン (ZORIN) 上海労働者協會代表

マカロフ (MAKAROFF) 鐵道従業員宣傳者 漢口 今上海

プロトフ (PETROFF) 「ボロヤン」ト共ニ支ル 波蘭系猶太人佛國籍

ゲ、パ、ウ員 南支チエカ主任

オズカー、ツ (KREFTS) 飛行家 漢口

シエワルツ (SCHWARTZ) 武漢宣傳部

ツイルキン (ZTSIRKINS) 北支「チエカ」代表 有名ニ國際的スパイ

バロ、コルフ、 (KOREY ? BAROH) 一人カニカ不明 北支へ

Ritto

ケティン (KETING) 共産黨 労働組合方面ニ活動 漢州へ

シヤロフ (SHAROFF) 漢口軍事指導員 ガリント共ニ

アレキサンデル、シヤロフ (SHAROFF ALEXANDER) 政治指導員 七月浦塩へ

クレパノフ (CHREPANOFF)

S 13402 0114

S 13402 0113 0105

軍事顧問 在支五年 カリント其右
元何應欽軍中附屬

カリシエフ (KARISHEV)

漢陽兵工廠造砲技師

オゾール (OZOL)

エ兵將校

南京に居住セル為 共產黨より除名セラレ

シヤス (SHASS)

第三國際代表 アフガンに任命セラレ

ペトレンコ (PETRENKO)

廣東 軍事顧問

ペレグドフ (PEREGUDOFF)

軍事顧問 廣東に革命軍將官

上海領事館 アッタツセに任命

オレジン (OLDIN)

レット人

元漢口テ「ガリン」司令部に於ケル アッタツ

コスツケエンコ (KOSTUCHENKO)

飛行家

蒋介石 某軍に後軍

ニキチン (NIKITIN)

全右

クリキツト (KRANKIT)

福建農村運動に於て専門家

クラシルキン (KRASHILKIN)

S 13402 0116

S 13402 0115 0106

廣東航空教官

ガレシキイ (GARELSKI)

經理顧問 (兵站?) 革命第二軍附

ラトミロフ (RATMIROFF)

馮玉祥 軍事代表

備考 *Sigurd* ニ代表、譯語ヲ附シ置ケリ。

S

13402

0117

0107

REEL No. A-0377

0248

アジア歴史資料センター

36

通紙五局

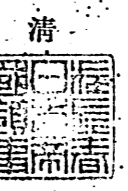
機密公第二一六號

昭和二年九月二十日

昭和元年九月廿八日接受

在長春

領事 永井



外務大臣 田中 義一 殿

歐米局

寛城子支那警察處ノ「メストコム」幹部逮捕並ニ
事務所閉鎖ニ關スル件

寛城子支那警察處ノ同地「メストコム」ノ赤化宣傳ニ對スル取締ハ甚タ嚴重ニシテ集會ノ如キハ容易ニ許可セザルヲ以テ「メストコム」員ニ於テハ驛事務室、個人住宅或ハ郊外ニ「ピクニツク」ニ名ヲ藉ル等絶ヘス場所ヲ換ヘ官憲ノ注意ヲ避ケ極秘裡ニ會合策同スルヲ常トセルカ去月九日「メストコム」幹部數名事務所ニ集合秘裡ニ何事カ談合シアルヲ探知シタル警察處ハ處員ヲ現場ニ派遣シ無許可

(分類 A.3.4.0.2-6.)

4612.103
612.003

在長春日本帝國領事館

集會ノ故ヲ以テ解散ヲ命スルト共ニ代表「ロジンスキー」外二名ヲ檢舉シ之ヲ哈爾濱警察總管理處ニ報告シ置キタルカ同月十七日同處ヨリ「ロジンスキー」ヲ科料十元ニ其他ヲ五元ニ處スヘキ旨申越タルヲ以テ直ニ此旨ヲ申渡シタルニ何レモ不服ヲ唱ヘテ罰金ノ納入ヲ背セサル爲右ノ次第ヲ報告シ指圖ヲ仰キタルニ總管理處長ハ「ロ」等ノ行動ヲ不都合ナリトシ更メテ倍額ノ罰金ヲ科スヘク命令シ來レル處尙服罪セサルヲ以テ遂ニ同月二十三日前記三名ヲ哈爾濱ニ護送シタリ翌二十四日同警察處ハ張行政長官ヨリ本件解決迄「メストコム」事務所ヲ閉鎖スヘシトノ命令ヲ受ケタルヲ以テ同日巡官ヲ派シテ事務所内ノ書類ヲ檢閲セシメ共產主義ニ關スルモノハ悉ク之ヲ押收シ同所居住ノ事務員ニ立退ヲ命スルト共ニ其ノ出入口ニ官憲ノ封印ヲ施シ閉鎖セリ尙翌二十五日ニ至リ哈爾濱ヨリ「メストコム」員列車看守「コンスタンチーノフ」驛營業部書記「ウエイルニク」保線部書記「アヘンコフ」保線部看守「ペーチキン」ノ四名ノ連累

在長春日本帝國領事館

S 13402 0119 0109

S 13402 0118 0108

REEL No. A-0377

アジア歴史資料センター

者逮捕押送方命令アリタルヲ以テ逮捕ノ上同地へ護送セリ
一方「メストコム」ニ於テハ二十七日幹部烏鐵代表「ニクーリン」
驛檢斤係「ノウキコフ」電話主任「コベリニコフ」等約十名寛城
子驛長「スポーダ」社宅ニ集合シ支那官憲ノ壓迫ニ對スル善後措置
ニ付協議ヲ重ネタル結果事務所内ノ財産ハ東鐵ノ財産ニテ管理局ヨ
リ直接支給セラレ居リ支那側ニテ濫リニ之ヲ處分シ得ヘキモノニ非
サレハ哈爾濱「ドルコム」ヲ經テ嚴重抗議ヲ爲スコト、シ拘禁中ノ
「メストコム」員釋放運動ニ付テモ併テ請願スルコトニ申合セ事務所
所ノ財産明細表ヲ作成シ荷物出札掛「ラービン」ヲ請願委員トシ携
行赴哈セシメタルカ東支「ソ」側幹部ニ於テモ本問題ヲ重大視シ萬
一事務所ノ家具財産ニシテ沒收セラル、カ如キコトアラハ將來ニ惡
例ヲ殘スモノトシ嚴重抗議スル所アリタル趣ナリ
又拘禁者釋放ニ付テハ「ドルコム」ノ努力ニ依リ一名ニ對シ大洋一
萬元ヲ納入シテ釋放セラル、コトニ話纏リ居ルモ七分七萬元ノ巨

在長春日本帝國領事館

S 13402 0120 0110

額ヲ要スル爲之ヲ東鐵機密費ヨリ融通ヲ受クヘツ交渉シタルモ管
理局ニ於テハ目下管理局長ノ權限問題ニ關シ呂督辦及「ラシエウキ
チ」副理事長間ニ於テ折衝中ニテ何時支那側ヨリ會計檢査ヲ受クル
ヤノ懸念アルヲ以テ目的ヲ達セス結局哈爾濱ニ於テ調達ハ不可能ナ
レハ「ドルコム」ハ之ヲ赤化宣傳費トシテ莫斯科政府ニ請求セル模
様ナリ
紋上ノ如ク「メストコム」ノ事務所ハ閉鎖セラレ主ナル幹部ハ拘禁
中ナルノミナラス剩ヘ官憲ノ嚴重ナル監視下ニ在リテ活動昔日ノ如
クナラサルモ尙假事務所ヲ同地商業代理部内ニ置キ隱密ニ策動ヲ續ケ
居ルモノ、如シ
右當地警察側ノ探聞其儘何等御參考迄ニ報告申進ス

本信寫送付先
在支公使 在奉天 哈爾濱各總領事

在長春日本帝國領事館

S 13402 0121 0111

16

支那領事

昭和貳年拾月拾日 接受

東支

機密公第二一七號

昭和二年九月二十三日

在長春

領事 永井

清



歐米亞第一課

外務大臣男爵 加藤 外務省 義一殿

支那側ノ東支商業部壓迫ニ關スル件

支那側ニ於テ近時東支鐵道利權ノ回收ヲ計リ勞農勢力ノ驅逐ニ全力ヲ注キツ、アルハ周知ノ事實ナル處最近海拉爾ニ於テ同地商業代理部カ金融ニ類スル營業ヲ嚴禁セラレ居ルニ不拘密ニ各地ニ人ヲ派シ農民其他ニ低利資金ヲ融通セル外裏面ニ於テ赤化宣傳ニ從事セリトナシテ之ヲ閉鎖シ尙全滿各地ニ於ケル代理部及出張所モ前記同様ノ疑アリトテ近ク一律ニ閉鎖セムトスルノ計畫ヲ立テ目下極秘裡ニ之カ材料ノ蒐集ニ腐心シツ、アルモ當地、奉天、大連ノ三ヶ所ハ何レ

(分類A.3.40.2-6.)

610.111

610.77 Toshi

在長春日本帝國領事館



13402

0122

0112

モ日本ノ行政圈内ニアリ閉鎖困難ナレハ勤務員ノ支那領土内ニ出入ノ際嚴重監視取締ヲ爲ス方針ニテ近ク閉鎖スヘク豫定シ居ルモノハ伯都訥、双城堡、營口、一面坡、滿州里等ナリト

右當地警察側ノ情報何等御參考迄報告申進ス

本信寫送付先

在支公使、奉天、哈爾濱、吉林各總領事

滿州里、齊々哈爾、營口各領事

在長春日本帝國領事館



13402

0123

0113

REEL No. A-0377

アジア歴史資料センター

臣細亞局
機密第七六三號

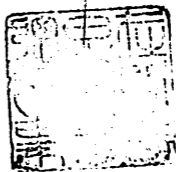
第一號甲

昭和貳年拾月六日 接受

昭和二年九月二十七日

在間島

總領事 鈴木要太郎



歐米局

外務大臣 野田中義一 殿

赤露ノ滿洲赤化計畫ニ關スル報告

(理春頭道滿分署長報告ニ據ル)

本件ニ關シ謀知スル處ニ據レハ在浦潮政廳ニ於テハ本年九月十日滿洲赤化宣傳ニ關シ幹部會議ヲ開催シ之カ對策等ニ付討議シタルカ其ノ概要左ノ如シト

(分類A. 3. 4. 0. 2-6.)

612. 007

記

一浦潮政廳長官ノ訓示

過敏朝鮮及支那滿洲方面ニ於テ(客年十月朝鮮京城火曜會員及本年八月大連方面ニテ日本官憲ニ逮捕セラレタル主義者)赤化運動ノ陰謀事實帝國主義官憲ニ發覺サレ多数ノ犠牲者ヲ出シタルハ赤化運動ノ進展上不詳事ニシテ甚遺憾トスル所ナリ併シ元來此ノ赤化運動タルヤ一朝一夕ノ短期間ニ於テ成功スヘキモノニアラスシテ長キ歲月ノ間世界ノ人類ハ自然ニ現社會ノ不公平ナル組織ヲ打破シ合理的新社會ヲ建造セントスルモノナリ現下世界何レノ國ヲ問ハス支配者被支配者有産者對無産者間ノ反目ハ之レ人類社會ノ自然的原則ナリ遠カラサル將來ニハ世界人類ノ協力的努力ニ依リ必スヤ世界ヲ風靡スルコトアルヘシ豪々一二回ノ失敗ヲ以テ落

S 13402 0125

S 13402 0124

0114

望スルコトナク第三第四ノ運動ヲ繼續シ漸進主義ヲ以テ努力シ我カ東方政策ヲ完フセラレタシ殊ニ目下支那南方ハ武漢政府及馮玉祥氏ニ依リ赤化ハ意ノ如ク進展シツツアリ北方東三省ハ張作霖ノ北京進出及南北戦ノ關係上赤化防止ヲ寬ニシツツアルハ事實ナリ此ノ好機ニ際會シ同志諸員ハ一層奮闘セラレムコトヲ望ム云々

ニ決議事項

一、在浦潮世界革命救助委員會ヲシテ滿洲各地ニ於ケル共產主義團體ノ被害狀況ヲ調査セシムルコト
二、在浦潮國家保安部ヲシテ露支國境ノ支那警備狀況ヲ調査セシムルコト

三、滿洲ニ於ケル各被害團體ニ慰問使ヲ派遣スルコト
々滿洲各地ニ赤化宣傳員ヲ派遣シ主義團體ノ運動ヲ補

助スルコト

右決議第三項ノ慰問使ハ在浦潮世界革命救助會委員タル支那人王熙福外一名ヲ選定シ近ノ派遣ノ豫定ナルカ第一項ノ被害真相調査ニ此ノ慰問使一行ニ兼任セシメアリト

本信馬送付先

北京公使 奉天 吉林 哈爾濱 各總領事

安東領事 通化分館主任

管内各分館主任 各署長 分署長

朝鮮總督 咸南 咸北 平北 各知事

朝鮮軍參謀長 第十九師團參謀長

羅南憲兵隊長 延吉派遣員 間島派遣員

S

13402

0127

S

13402

0126

0115

機密第三〇三號

昭和二年九月二十七日

在瑛春分館主任 望月純一郎

外務大臣男爵 田中義一殿

赤露ノ滿洲ニ於ケル排日應援ノ爲メ鮮支共產黨員
密派ニ關スル件 (頭道溝分署長報告ニ據ル)

本件ニ關シ露領ニ常置セル牒者ノ齎ス處ニ依レハ露國共產黨沿海道
々幹部會ニ於テハ滿洲ニ於ケル支那民衆ノ排日行動近時支那側官憲
ノ取締嚴重ナル爲メ漸次不振ノ趨勢ニアリテ終ニ日本ノ帝國主義的
侵略政策ヲ馴致スルニ至レルカ露國共產黨ハ世界革命ノ大精神ニ則
リ支那國民ノ大衆團結ト其ノ革命思想ヲ喚起シ以テ日本ノ滿洲ニ於
ケル侵略政策ニ組織的對抗ヲ行ハシムルノ要アリト爲シ本月二十日

分類 A. 3. 4. 0. 2-6. }

(赤
粹
紙)

外
務
省

S 13402 0128 0116

秘密裡ニ支那人共產黨員周庭璋外七名及高麗共產黨員韓秀雄(タラ
シ)外二名ヲ選抜シ哈爾濱ヲ經テ奉天、吉林方面へ密派シタリト云
フ

右報告ス

本信寫送付先

- 在支公使
- 間島 奉天 吉林 哈爾濱 各總領事
- 安東 長春 各領事
- 局子街 頭道溝 百草溝 各分館主任

(赤
粹
紙)

外
務
省

S 13402 0129 0117

務

亞細亞局
機密第七七八號

昭和二拾月拾日

昭和貳年拾月拾日

接受部
2.13.11

昭和二年十月一日

在間島

總領事 鈴木要太郎



歐米局

死務大臣野田中義一 啟

赤露ノ馬賊買収ニ關スル支那軍憲ノ訓令報告

(銅佛寺分署長報告ニ據ル)

本件ニ關シ高子街駐屯支那陸軍第九團長梁泮ヨリ管下各駐屯部隊長宛發シタル訓令要旨左記御參考迄

記

北京ニ於ケルソグイェト大使館搜索事件後極東ノ赤化政

外類A.3.4.0.2-6.)
612.007
612.105

策ニ頓挫ヲ來セルソグイェト政府ハ張作霖ノ京兆出馬ノ間隙ヲ利用シ東三省ノ擾乱ヲ企圖シ本春莫斯科第三團際共產黨陸軍士官學校ヲ卒業セル中人王景江及楊某外四名ヲ七月下旬在哈爾濱モプル支部ニ派遣シ露人ヤンケーフノ配下ニ入ラシメ目下寬城子ヲ中心トシテ主義運動ニ積極シツアルカ之レ消極的ニシテ效果揚ラザルヲ以テ更ニ積極的方策ヲ講スヘク國民政府胡漢民ト通謀シテ省内ノ馬賊團買収ニ着手シ賊團ヲ縱縱シテ張作霖ノ背後ヲ衝キ三省ノ略奪ヲ斷行スヘク既ニニコリスク第三軍團長ヲシテ往年ニコリスクヲ中心トシテ活動シタル頭目靠山ノ殘黨ヲ買収シ該部隊ヲ露支國境ニ分散配置シ東部ノ警備ニ任セシメツツアルニ機ニ乘シ一舉中領ニ侵入所期ノ目的達成ニ奮心シツツアリト現ニ其別働隊ト目スヘキ中國人天德ノ率キル一派約



13402

0131



13402

0130

0118

五十名ハ九月九日吉林省長壽縣石頭河子站ヲ襲撃シ金
品ノ掠奪ヲ行ヒタル上、敵名ノ人質ヲ拉致シ、森林地帯ニ引揚
ケタルカ、露國人某ヲ頭目トシ、中國人天徳ヲ副頭目トスル本
隊ノ一部約七百名ハ九月中旬興凱湖露支國境附近ヨリ中
領ニ入り、目下寧安縣筒氣溝ヲ經テ東漸ノ情勢ニアリ云々

以上

不信寫送付先

北京公使 奉天 吉林 哈爾濱 各總領事

安東領事 通化分館主任

管内各分館主任 各署長 分署長

朝鮮總督 咸南 咸北 平北 各知事

朝鮮軍參謀長 第十九師團參謀長

羅南憲兵隊長 延吉派遣員 間島派遣員

S

13402

0132

0119

75

(分類 A-3.4.1.2-6)

朝保秘第二二三九號

昭和二年十月七日

朝鮮總督府警務局長

共產黨ノ宣傳文輸送ニ關スル件

首題ノ件ニ關シ別紙寫ノ通り受報候條御參考迄及通報候也

(赤梓紙)

外務省

S 13402 0133 0120

咸北高祕甲第五二二四號

昭和二年九月二十八日

咸鏡北道警察部長

共產黨ノ宣傳文輸送ニ關スル件

ソヴェット政府ノ對支政策トシテ中國ノ赤化ニ努力シアルコトハ展報ノ通りナルカ從來在ハバロフスク遠東幹部ヨリ中國各地へ輸送スル宣傳文其他ノ不穩文書ハ陸路輸送スルヲ例トナシ居リシカ露支國交斷絶ニ伴ヒ支那官憲ノ取締嚴重ナル爲メ其ノ大部分ハ支那官憲ニ檢舉沒收セラルル状態ナルヲ以テ今後ハ之ヲ海路輸送スルコトトシ去ル九月上旬支那戒克船一隻ヲ借受ケ(船主王章文)多數ノ宣傳文

(赤梓紙)

外務省

S 13402 0134 0121

A

其ノ他ノ不穩文種ヲ積載シ宣傳員トシテ浦潮支那共產黨員漢英賊外
二名ヲ乗込マセ浦潮出港上海ニ向ヒタリト
右及報告通報候也

(赤
棒
紙)

外
務
省

S 13402 0135 0122

REEL No. A-0377



亞細亞局

機密第三一(一)端

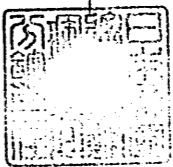
昭和二年十月八日

第一書

昭和貳年拾月拾九日接受

在渾春

分館主任 望月純一郎



0123

及黄危

歐米局

張良勇 薛田 中義一 殿

吉林省長ノ赤化防止訓令ニ関スル件

本件ニ関シ當館署長報告ニ據レハ吉林省長ハ今般赤化防止辦法トシテ當縣知事宛ニ大要左ノ如ク訓令スルトコロアリタリト謀知シタル趣ナリ

一、東支沿線各地ニ居住スル露人及鐵道辦事員ニ

シテ赤化宣傳ノ疑アルモノハ隨時家宅捜査ヲ行ヒ證據ヲ蒐集スルコト

一、鐵道辦事員ニシテ赤化宣傳ノ證據充分ナルモノハ直チニ解雇放逐スルコト

一、東支鐵道沿線各地居住露人ニシテ赤化宣傳ノ證據充分ナルモノハ檢舉ノ上特別區警察ノ聽ニ引渡スコト

一、露人ノ特別區以外ノ地ニ旅行スルコトハ絶對之ヲ拒絶スルコト

一、露人ノ支那勞働者ヲ勞役其他ノ為ノ募集スルコトヲ嚴禁スルコト

一、露人ヲ支那人ノ農場、商會、社工場等ノ技師又ハ顧問トシテ聘傭スルヲ禁スルコト

S

13402

0137

S

13402

0136

一 露國人ノ特別區以外ノ地ニ於テ商業又ハ其他ノ
職業ヲ營ムコトヲ禁スルコト
一 各軍民ノ長ハ部下ヲ督勵シテ國境出入露支
人ノ行動ニ付一層注意查察スルコト

右報告ス

本信馬送件先

在支公使

間島、奉天、吉林、哈爾濱各總領事
局子街、頭道溝、百羊溝各分館主任

S 13402 0138 0124

REEL No. A-0377

アジア歴史資料センター

73

秘

歐米局
關機高收第二五八四七號
昭和二年十月十日

第一課

子

加瀬

中

昭和貳年拾月拾四日接受

關東廳警務局長



亞細亞局

內務省	拓殖局長
外務省	官長
陸軍省	官長
海軍省	官長
文部省	官長
逓信省	官長
農商省	官長
勸業省	官長
警務局	官長
關東廳	警務局長
關東支隊	支隊長
關西支隊	支隊長
關東軍	軍長
關西軍	軍長
關東警備隊	隊長
關西警備隊	隊長
關東憲兵	隊長
關西憲兵	隊長
關東海軍	軍長
關西海軍	軍長
關東鐵道	局長
關西鐵道	局長

北滿ニ於ケル赤系活動

(分類A-3,40.2-6.)

671.007

本月六日在奉天(シヤドウイン)少將ノ下ニ哈府ヨリ達シタル情報ニ依
レハ勞農露國ハ東三省就中北滿ニ於ケル積極的活動ヲ企圖シ之カ總指揮
官ニ東支副理事長「ラシエウイチ」ヲ任命シ暗中活動ヲ試ミ來レルカ北

支一滯ノ情勢熟シタルヲ見テ愈々實行ニ移リ「ラ」氏ハ最近表面個人名
義ノ下ニ「ラシエウイチ」事務所ナルモノヲ設置シ直接之レカ管理ニ當
リ居レリ

勿論此ノ事務所ハ軍事秘密機關ニシテ既ニ勞農本國ヨリ露文鮮人ノ將校
先月末迄ニ三百人(何レモモス)ニ於テ赤露軍事政治教育ヲ受ケタル
モノ)來哈シ居レリ「ラ」氏ノ此ノ舉ハ早クモ白系密偵ノ知ル所トナ
リ哈府附近一帯ノ反革命分子ニ一大衝動ヲ與ヘ天津白系露字新聞「ナ
シプーテ」ノ如キハ既ニ社員ヲ特派シ之レカ計畫及内容組織調査ノ爲秘
密裡ノ活動ヲナシ居ル状態ニアリ彼等ノ企ム所ハ東支沿線一帯ヲ中心ト
シテ遠ク「バインタラ」附近迄前記將校ヲ配置シテ地方擾亂ヲ目的トス
ルモノナルカ他日支那側ノ深知スル所トナレハ當然兩國間ノ大問題トナ
リ支那側ノ東支鐵道回收ノ實行ヲ促スモノト見做サレ居レリト。以上

S 13402 0139 0125

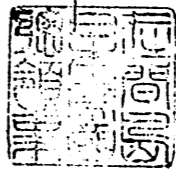
S 13402 0139 0125

通細亞局
機密第一〇一〇

昭和二年十月十一日

在間島

總領事 鈴木 要太郎



昭和貳年拾月廿日 接受

赤化

歐米局

支那側ノ赤化宣傳防止ニ關スル
訓令報告 (銅佛寺分署長報告ニ據ル)

支那側ノ赤化宣傳防止ニ關スル

訓令報告 (銅佛寺分署長報告ニ據ル)

不件ニ關シ省長公署經由吉林全省警務處署長ヨリ
管下各署ニ轉令シタル鎮威上將軍ノ訓令要旨左記
御參考迄

記

吉林全省警務處訓令

吉林省長經由鎮威上將軍公署訓令參字第四十四號ヲ
奉スルニ奉天省城商埠警察局長張漢威ノ密偵報ニ據
レハ最近武漢ノ赤党李韓五ト稱スル者省内ニ侵入シタル
事實アルカ同人ハ武漢赤化宣傳部長ニシテ曾テ竊カニ
奉天ニ乘リ間エタク北方ニ向ケ立去リタリト
右ハ事實調査ノ結果奉ハ武漢總工會々長李立三ニシ
テ同人ハ日下武漢政府執行委員朱霽青ト共ニ東三省擾
亂ノ計畫ヲ以テ奉天ニ潜入調査ノ上直ニ去ツテ吉林ニ
赴キタルカ省内一部ノ學生等ハ盛ニ奉ノ東三省入りヲ歡
迎シタリト尚聞ク處ニ依レハ奉ハ數名ノ露人ニ保護セ
ラレ復タ既ニ滿鐵沿線日本官憲ノ諒解アリト而シテ露
國政府ハ日下對支赤化宣傳ニ餘カラ遺ササル狀況ナルカ



13402

0142



13402

0141

0127

曩ニハ日本ニ對シテラジオノ赤化宣傳ヲ為シ發見セラレ最近亦赤化宣傳電氣フィルムカ在奉天露人ノ住家ニ發見セラレタルカ我官憲ノ檢舉ヲ恐レフィルムノ所在不明トナリタル事實アルヲ以テ之等赤化宣傳用フィルムヲツオ等ニ就テハ嚴重取締ヲ勵行スルト共ニ適時狀況報告方訓達アリタルニ付各署ハ所屬ニ轉令シ取締上遺憾ナキヲ期スヘシ云々

中華民國十六年九月 日

吉林全省警務處長 王寶善

本信寫送付先

北京公使 奉天吉林哈爾濱各總領事

安東領事 通化分館主任

管内各分館主任各署長分署長

朝鮮總督 咸南咸北平北各知事

軍參謀長 十九師參謀長 羅南憲兵隊長

延吉警道員 間島警道員

S 13402 0144

S 13402 0143 0128

REEL No. A-0377

歐米局
機密第一九號

昭和二年十月廿日 接受

昭和二年十月十二日

在間島

總領事鈴木要太郎



亞細亞局 外務大臣男爵田中義一殿

赤露ノ朝鮮及滿洲ニ於ケル赤化宣傳機關

更新ニ關スル報告 (彈春頭道溝分署長報告ニ據ル)

本件ニ關シ謀知スル處ニ依レハ第三國際黨極東委員會ニ於テハ漸ク鮮内ニ基礎的組織ヲ見タル朝鮮共產黨員ノ檢舉セラレタル以來黨ノ聯絡及宣傳ニ關スル業務萎微セムトスルノ狀アルヲ遺憾トシ之カ事業ヲ繼續ハ刻下ノ急務

671.007

分類 A. 3. 4. 0. 2-6. 3

ナリトテ九月二十日極東委員會臨時幹部會議ノ決定ヲ以テ朝鮮及滿洲ニ於ケル鮮人共產黨ノ統一機關ヲ設置スルコトニ決シ新タニ京城ニ朝鮮局ヲ設ケ滿洲ニ於ケル遼東局(年中設置)幹部ノ更迭ヲ行ヒ各地細胞團體トノ聯絡及宣傳業務ノ復興ヲ圖リ漸進主義ニ依リ赤化政策ヲ促進スヘク九月二十五日左記四名ノ幹部ヲ選任シ夫々任地ニ向ハシメタリト注意視察中ナリ

記

一朝鮮ニ派遣シタル者

原籍 咸鏡北道城津郡以下不詳

住所 露領ハハロフスク市

莫斯科共產大學出身 南

原籍 咸鏡北道吉州郡以下不詳

推定二十八年

S 13402 0146

S 13402 0145

0129

住所 浦潮関拓里 ヲチヤツカ

右 同

李

東 推定二十六年

ニ満洲ニ派遣シタル者

住所 露領沿海縣 イマン

右 同

崔

相 推定二十七年

住所 右 同

莫斯科共產中學出身 韓

基 推定二十五年

以上

本信馬送付先

北京公使、奉天、吉林、哈爾濱各總領事

安東領事 通化分館主任

管内各分館主任各署長分署長

朝鮮總督 咸南、咸北、平北各知事

羅南憲兵隊長 延吉派遣員 間島派遣員

S 13402 0148

S 13402 0147 0130

REEL No. A-0377



歐米局

d 646007
610.007

臣細亞局

公第 二九二 号

昭和二年十月十三日

昭和二年十月四日 接受

別紙添付

在廈門

領事 坂本 龍 起



外務大臣男爵 田中 義一 殿

件名

昭利二年十月十三日附上海總領事宛公信寫送附公領第七一號
一事變ノ爲汕頭ヨリ當地ニ避難セル赤露人ニ關シ通報ノ件

在廈門日本帝國領事館



13402

0149

0131



寫

公領第七一號

昭和二年十月十三日

在廈門

頭等坂本船

在上海

總領事 矢出七太郎殿

事變ノ爲メ汕頭ヨリ富地ニ避難セル赤嶽人ニ關シ通報ノ件

前月下旬汕頭ヲ占領セル所謂共產軍ノ同地撤退ト同時チ同ウシ本月一日
同地文書等難ノ爲メト得ス來廈セル赤嶽人五名(内一名ハ女子)アリ當

在廈門日本帝國領事館

S 13402 0150 0132

地共同租界工部局ハ其產權宣傳ノ嫌疑ヲ以テ之ヲ引致取調ヘタル上本月
九日太古汽船「四川號」ヲ以テ上海ニ押送シタル事ハ既ニ拙稿爲月八號
ヲ以テ通報ノ通りナルカ右事件ハ露國人ノ赤化運動ニ關聯シ富地方一級
ノ耳目ヲ惹キ相當重大視セラレルヲ以テ富地深査ノ概要ヲ此參考迄茲ニ
報告申進ス

記

右露國人ハ Scobell (三十一才) Koinamine (三十三才)

Berg (三十才) Kifer (三十七才) Wiger 夫人 (二十四才) ト稱シ

前報ノ目的ヲ以テ露領浦ヨリ上海經由汕頭ニ赴キタリト稱スルモノナ
カ勿同方面收獲ノ同地ヨリ返ル舟中ニ急カムトシタルニ同地英領領事

在廈門日本帝國領事館

S 13402 2 0151 0133

ハ其旅券ノ査証ヲ拒絶シタルヲ以テ已ムナクハ紛ヒテ本月一日(上海)ニ於テ
 リ一方在汕頭英國領事ハ當地同領事ニ以テ向人等ノ行動注意方ヲ電報セ
 タルニ依リ同領事ハ直ニ交渉著テ經テ右旨ヲ司令部、公安局、水上公安局
 ニ通報シ工部局ト共ニ計議ノ手配ヲナシタルカ時々既ニ向人等ノ乗船セル
 汽船乗客ノ人選檢ノコトニ關シ向人等ノ行商不明トナリタルモ復會ノ者
 二日工部局探偵ハ右探偵人等ノ租界内中華旅館ニ宿泊申ナルヲ探知セリ
 是工部局ハ直ニ向人等ヲ引致取調タル處向人等ハ浦塩駐在支那領事ノ査
 シタル旅券上ニテ發給セル護照及上海露國人商業組合ノ證明書等ヲ示シ
 テ商業ノ目的ヲ以テ汕頭ニ過キタルモノナル事ヲ宣明シタルモ其地ハ
 等實際向人タル事ヲ證明スルニ足ル證據無キトナラス所持金ノ額少ナ
 事。所持品ノ盡ク新調品ナル事等ニ關シ
 所持トランク中ヨリ出テタル

在廈門日本帝國領事館

S 13402 0152 0134

海。汕頭、廣東方面事務觀察ニ赴クモノナル事判明シ更ニ
 トランク中ニハ九種ニ於ケル英國人ノ支那入殺狀ニテ書キタル請書及此
 種主義宣傳ノ譯文現レタルヨリ或ハ長洲向人ヲ殺ヒ恐カニ此種請書トシ
 テ政治的全圖ヲ成スルモノニ非ズヤトノ疑ヲ以テ工部局ハ向人等ヲ其ノ
 留留セリ然ルニ向人等ハ上海蘇維爾事ニ對シ釋放交渉方ヲ打電シ四日同
 領事ヨリ工部局ニ釋放要求ノ電報アリ而シテ本人等ハ當地ヨリ更ニ廣東
 往キ度キ希望ヲ述ヘタルモ工部局ハ文部局ト協議ノ上之ヲ上海ニ送付シ
 上海總領事ニ引渡スニ決シ五日當地發汽船發時ニ乘込マシメントセルモ船
 ナク九日ノ便船ニテ上海ニ送付セリ

在廈門日本帝國領事館

S 13402 0153 0135

送ニ添付ス

本信寫送附先

大臣、在支公使、香港、廣東各總領事、福州領事、臺灣總督

臺灣軍司令官

在廈門日本帝國領事館

S 13402 0154 0136

扣留中ノ露國共產黨員続報（十月九日民権報記事）

露國共產黨員五名ノ當地工部局ニ扣留セシメタル事件ニ就テハ幾ニ本紙上ニ掲載セル通りナルカ外間ニ於テハ彼等ハ共產黨員ニ非スシテ普通商人ナリカ如ク傳ヘラレルモ右ハ事實ニアラス茲ニ本紙ノ探知シタル詳細ヲ左ニ本件真相ヲ發表スル所アルヘシ露國人四名女子一名ハ共產軍ノ敗退スルニ及ヒテ本月二日汽船滬陽ニテ來厦セリトノ報告ヲ得タル當地工部局ハ警戒中ナリシ處三日朝廈門支那當局ヨリ引渡ノ要求アリ始メテ中英酒店ニ於キ檢査セルモノニシテ既ニ汽船「綏陽」ニテ上海ニ押送セントモルモ滿員ノ爲船室ナク午前同船ニ扣留中ナリト云フ茲ニ取調ノ結果判明セル露國人ノ姓名等ヲ列記スルハ左ノ如シ

在廈門日本帝國領事館

S 13402 0155 0137

I Beckell 年三十三才
 D Koumamine 年三十三才
 B Berg 年三十才
 E Eger 年三十七才
 G Miss Kger 年二十四才
 所持トランタ等ハ多クハ新規購入品ニシテ概シテ品質良ク且衣類等亦華麗
 ノモノ多キ處検査ノ結果押收セルモノ左ノ如シ
 甲 Schall ノ「トランタ」中ヨリ
 乙 上海ニテ發給セル護照一葉
 丙 政治的性質ナキ書信及寫眞若干
 D Koumamine ノ「トランタ」中ヨリ

在廈門日本帝國領事館

S 13402 0156 0138

丁 護照發給ノ護照一葉
 乙 二十七日池頭ヨリ上海宛電報領收書一葉
 丙 Berg ノ「トランタ」中ヨリ
 丁 護照發給ノ護照一葉
 戊 政治的ニ關係ナキ書信及寫眞
 己 海浦製鐵廠東方局發ノ手紙二通右ノ内ハ Berg ノ上海行ニ關シテ發給
 在支那領事ニ査證ヲ求メタルモノニシテハ Berg ハ海浦製鐵廠東方局ノ
 職員ニシテ日本 上海 汕頭 廣東ニ赴キ事務ヲ觀察スルモノナルヲ
 證明シタルモノナリ
 庚 中英旅前ヨリ上海ニ打ツ書ノ電報案一通右ハ Berg ノ署名セルモノニ
 シテ現案終了セルニ付餘ハ直ニ出發スヘシトノ語アリ

在廈門日本帝國領事館

S 13402 0157 0139

(思フニ右ハ何等カノ暗號ナルヘシ)
 「*Wiggen*」ノトランク中ニアリシモノ
 (一)上海ニテ發給セル護照一葉
 (二)廣東英國領事ニ於ケ本人ハ香港ヨリ上海ニ往クモノナル事ヲ查證シ並ニ汽船「蘇州號」ニテ出發スル事ヲ證明セルモノ
 (三)上海露國商會發給ノ證明書一葉
 (四)日記帳一冊、表面ニハ漢口英文學校ト書シアリ内ニ何等政治的意味無キ記事ヲ記載セル紙片及寫眞數葉ヲ挟ミアリモリ
 戊 *Wiggen* 夫人ノトランク中ニアリシモノ
 「*Wiggen*」氏同族ノ護照一葉
 (一)繪畫四枚、一八九何年九龍ニ於ケル支那人殺戮ヲ英國巡船ノ傍觀シ居

在廈門日本帝國領事館

S 13402 0158 0140

ル有蓋ヲ育キタルモノニシテ支那ハノ惡感南ヲ激發セシムルニ足ルモノニシテ九龍香港間ニ於テハ今尙如斯殺戮ノ行ハレ居ル事ヲ示シタルモノナリ
 (三)小雜誌之類、内ニ手記セルモノアリ其ノ内容不明ナリ外ニ政治的意味ナキ書信及寫眞數枚及鐵筆ヲ以テ記事セル露國文宣傳文案一葉
 (右譯文ハ後ニ之ヲ記載スヘシ)
 此ノ外所持金錢アリタル事ハ既ニ報道ノ通ニシテ他ニ何等正當商人タル事ヲ證明スルニ足ルモノナリ工部局ハ取調終了后書類ヲ翻譯シ之ヲ首席領事ニ交付シ會審公堂委員、交渉員ト共ニ査査シタルガ當時廈門支那當局ハ歐力商人等ノ引渡シヲ主張シタルモ首席領事ハ工部局ニ處分方ヲ一任シ商議ノ結果汽船ニテ上海ニ押送スルニ決セリ右ノ如ク上海押送決定後其旨同露

在廈門日本帝國領事館

S 13402 0159 0141

國人ニ通告シタル廈門人等ハ始メ此ノ決定ニ反對シ殊ニ *Higgin* ハ強硬
ニ反對シ上海露國人商會ノ説明書ヲ ^轉トシ商人等ハ商人ニシテ若シ廣東
ニ赴カスハ損害甚大ナリト云ヒ盡リタルモ工部局ハ廈門支那當局ニ於
テ彼等ノ南航スルヲ許ササルノ故ヲ以テ之ヲ拒絶シタルヲ以テ如何トモ
スル能ハス今尙中英旅順ニ扣留監視中ニシテ一舉一動盡ク深偵ノ監視中
ニアリテ散步買物等ニモ必ス深偵ノ尾行スル有様ナリ工部局ハ昨(八日)
汽船碇場ニテ上海ニ押送セントセルモ船室ナキ爲中止シタルカ上海行汽
船ノ右リ次第工部局巡警ヲシテ乗船セシ。同時ニ上海當局ニ對シ廈門分
電報スル事トナリ附レル趣ナリ

在廈門日本帝國領事館

S

13402

0160

0142

REEL No. A-0377

アジア歴史資料センター

分類A3(9-012-6)

門
置

言
↑

軍閥革命より 農民革命に傾く

露國の對支方針

露國の對支方針は昨年秋以來革命の中心を軍閥から農民に轉向せんとし、ハリソン氏の如きは昨年暮の共産黨大會に於て既に土地革命を提唱し本年春南方革命が起るも挫折してからは農民を主體とする土地革命を導くとすべしと論じて既に先般露國したボロチン氏も紅槍會を先導とする農民運動に依つて革命を達成するの外なきことを報告し莫斯科政府の幹部は大體に於て農民革命に傾いて來て居たが最近の露報に依れば莫斯科政府では支那革命の方向として左の如き方針を執るに決した模様である。

第一、農民を主體とする土地革命に依ること
第二、之が爲めには農民及び匪徒を中心とする紅槍會を先導としてモソフ運動を起し先づ支那を擾亂しその間に革命思想を培養すること
第三、四民大衆の外に農民運動を阻礙せる軍閥、學生、労働者等現在軍々の意味での買力者とも能く取り扱はれること
第四、支那革命の爲めに先づ學生労働者を使用したが彼等は結局之に依つてその日々を業に生活せんとするプロカールたるに過ぎなかつたので夫れで買力者たる

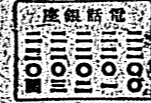
軍閥に手を着けたが之も亦革命と阿片の買賣を同一視する革命者であることが分かりボロチン氏の如きは彼らから幾らかでも金を取り得る期間の少く者のみが革命家たるに過ぎない事實を詳かに認識したので従つて露國の對支方針は農民革命に傾き、習な農民労働者の大衆に對して最後の努力を試みんとするに至つたものであらうと而して此方針が果して成功するや否やは疑問であるが所の如く手を代へ品を懸けて行ふ執拗なる努力は、餘りに排外思想を支那大衆に植付けるものとしてその効果を注目されて居る。

S 13402 0161 0143

RENGO SERVICES

信 通 合 聯

(行發社合聯開新本日)



社本東
五内地京
番丁幸町
地目町區市

外信 第 三 號 昭和二年十月二十六日 〇

◎支那官憲赤化防止

ハルビン二十六日發聯合 支那官憲は昨夜海拉爾驛構内で多数の赤
化宣傳書類を押収した。右は從來赤化書店と目され屢々家宅搜索を
受けたハルビンのポポーフ書齋店より持込まれたものである。
支那官憲の勞農書籍新聞に對する取締は頗る嚴重で總て滿洲皇族
ポグラフィヲナヤで沒收して居たが年末を控へ特に警戒嚴重を加へて
居る。

後 九。一五 フシ

S 13402 0162 0144

REEL No. A-0377

アジア歴史資料センター

亞細亞局

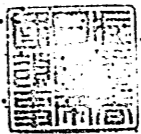
機密公第二五三號

昭和二年十一月一日

在長春

領事 永井

清



歐米局

外務大臣男爵

田中

義

殿

支那官憲ノ赤化宣傳土耳其人查察ニ關スル件

露國ノ共產黨ハ支那各地方官憲ニ於ケル赤派露人ノ取締峻烈ナル爲
赤化宣傳意ノ如クナラサルヲ覺リ最近ニ至リ宣傳方法ヲ改メ巨額ノ
給料ヲ支給シテ土耳其人浮浪者多數ヲ傭兵シ名ヲ宗教傳導ニ籍リ内
地ニ潜入セシメ赤化ヲ計畫シツ、アリ既ニ新疆省ニ於テ數名ヲ檢舉
シタルカ尙將來此等同類各地ヲ往來スル見込ナルヲ以テ今後土耳其
人遊歴者ニ對シテハ嚴重護照ノ検査ヲ行ヒ其行動ヲ查察スヘキ旨客
月三十日當地道尹公署ニ對シ上局ヨリ訓電アリタル趣ナリ

(分類 A. 3. 4. 0. 2-6)

612.007

在長春日本帝國領事館

記録簿
昭和二年十一月七日

S

13402

0163

0145

右何等御參考迄報告ス

本信寫送付先

在支公使 奉天 哈爾濱各總領事

在長春日本帝國領事館

S

13402

0164

0146

寫

分類 A.3.4.0.2-6

機密第三五〇號

昭和二年十一月十一日

在瑛春分館主任 望月純一郎

外務大臣男爵田中義一殿

間島共產黨事件ニ對スル露西亞共產黨ノ對策打合せ
會議開催ニ關スル件報告

(當館署長報告ニ據ル)

本件ニ關シ浦潮方面ニ派遣シタル牒者ノ齎ス處ニ據レハ邊ニ行ハレ
タル間島共產黨大檢舉ノ善後策ヲ講スル爲メ東滿總局組織部長金龍
洛外數名ハ遁走黨員ヲ糾合シ第二次朝鮮共產黨組織計畫ノ準備ニ着
手スヘク露西亞共產黨浦潮縣幹部ト聯絡ヲ執リ黨勢復活方ヲ講究シ

外務省

S 13402 0165 0147

第一課 加瀬 三井 赤 梓 紙

ツツアリタルカ十一月十五日露西亞共產黨浦潮縣幹部代表及高麗共
産青年會滿洲總局代表等寧安縣葦河ニ集合シ東滿道各地ノ細胞團體
及黨勢復興方ヲ協議スルコトトナリタルカ其協議豫定事項及浦潮縣
幹部ノ派遣代表ノ氏名左ノ如シト

協議豫定事項

- 1、東滿區域各細胞團體ノ逮捕セラレタル黨幹部員ノ補缺選舉ヲ
行フコト
- 2、東滿區域局位置選定ノコト
- 3、遁走黨員ノ召集ニ努ムルコト
- 4、モプル會ヲ振興セシメ以テ逮捕セラレタル黨幹部員ノ家族ニ
慰藉料ヲ贈與ノコト

(赤梓紙)

外務省

S 13402 0166 0148

5、犠牲ハ合理的社會建設ニ際シ免カレサルコトヲ宣傳シ以テ黨勢ノ振作ヲ計ルコト

6、京城新幹會ト聯絡ヲ執リ被檢舉者ノ慰安及後援ニ努ムルコト

浦潮縣幹部派遣代表ノ氏名

浦潮縣共產黨執行委員會執行幹部

同 縣ソヴェト執行部執行委員

同 縣學務部書籍翻譯課執行委員

同 縣政治部執行委員

同 縣土地部執行委員

同 縣女子部執行委員

同 縣モプル會代表

蔡東順

金萬謙

吳成默

鮮干涉

黃錫泰

南スーラ

南萬春

(赤梓紙)

外務省

S 13402 0167 0149

同 縣ケペウ代表

同 縣第一太平洋洋師團代表

本信寫送付先

在支公使

間島 奉天 吉林 哈爾濱 各總領事

同子街 頭道溝 百草溝 各分館主任

李亨根

安東伯

(赤梓紙)

外務省

S 13402 0168 0150

子

亞細亞局

朝保秘第2499號

昭和二年十一月十一日

秘

朝鮮總督府警務局長

第一課中

昭和二年十一月十四日

係

歐米局

分類 A.314.0.2-6)

天津	間島	吉林	奉天	在支	關東廳	警務局長	亞細亞局長	拓殖局長
總領事	總領事	總領事	總領事	公使	警務局長	警務局長	局長	局長
殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿

上海	長春	鐵嶺	安東	朝鮮軍司令官	今憲兵隊司令官	各道知事(除琵琶京畿)	各派遣員(除哈市)
總領事	領事	領事	領事	領事	領事	領事	領事
殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿

第三インターナショナル極東赤化

新計畫ニ関スル件

首題ノ件ニ関シ別紙寫、通り受報候條御參
考迄及通報候也

S

13402

0170

S

13402

0169

0151

哈派第三四一號

昭和二年十月十九日 在哈再賓派遺員松島親造

朝鮮總督府警務局長殿

第三インターナショナルノ極東赤化ノ新計画ニ関スル件
第三インターナショナルニ於テハ支那ニ於ケル赤化事業ニ
失敗ノ結果其ノ方向ヲ蒙古ニ轉シタル處同方面ノ青年
間ニ成績良好ナルニ鑑ミ即蒙古青年所地ヲ以テ極
東赤化ノ第一線トナシ以テ極東ニ宣傳スルコトセリ
依テジノウイエフ大學第三學年以上ノ生徒(露人)五十
名ヲ蒙古庫倫ニ派遣シ今地ニ於テ蒙古語ヲ修メ蒙
古ノ風俗習慣等ヲ習得セシメ以テ宣傳煽動ニ當ラ
シムヘク本年中之カ人選ヲ了シ明年初派遣スルコト
ニ決セリ而シテ右宣傳煽動ノ指導者トシテ左記ニ

名ヲ新ニ任命セリ

一所在地 庫倫 指導者 ^{Сарангата}ボロチン 本名 ^{ローゼンベルグ} 猶太人

ニ今 北京 今 元廣東軍顧問ニシテ最近敗露セリ

ニ今 上海 今 ^{Чабурбаев} 廿五、六年 猶太人

ニ今 上海 今 ^{Краснов} 四十五年位 猶太人

元西伯利亞革命執行委員會議長

因ニ前記サフロフ及クリーケル兩名ハ今回初テ第三イ

ンターナショナル事務ニ從事ス

右ノ内庫倫ニ本部ヲ置キ北京上海兩主任ハ庫倫ノ命

ヲ聽クコトス

北京上海ノ西部ハ其ノ管轄地内ニ於テ資金ヲ募集シ

独立ノ財政ニ依ルニ庫倫ノミンソウエート本國第三インタ

ーナショナルヨリ在庫倫マル中央購買組合 (Mitsuyoshi)

S 13402 0172

S 13402 0171 0152

經由ニテ年額五萬金留、配給ヲ受ク
ホロゲンハ晝義ニ支那ヨリ皎露ニ中央ニ報告シ意見ヲ述
ヘタルカ全人ハ目下ノ形勢ニテハ確實ナル計畫ヲ樹ツル
コト不可能ナルヲ以テ共產黨ノ現有勢力ノ維持ニ努力
スル程度以上ノ見込立タサルニ依リ此程度ニ止メ一方
他日ノ根柢ヲ保持セントノ意見ヲ主張シタル結果此
方針ヲ決ミタルモノナリト

右謀知ノ儘及報告候也

S 13402 0173 0153

REEL No. A-0377

アジア歴史資料センター

昭和二年

類A.3.4.0.2-6.)
671.007

開機高收第三一八九號ノ二
昭和二年十二月五日

關東廳警務局長

昭和二年十月十日 接受

在	滿	關	關	指	内	外	内
京	州	東	東	定	務	閣	
關	在	憲	軍	廳	省	務	
東	海	兵	參	府	警	拓	
長	軍	隊	謀	縣	保	次	殖
官	武	長	長	長	局	局	局
股	股	股	股	股	股	股	股

ソヴエート共産黨主義宣傳繪太圖書館開設

本年五月奉天千代田通繪太民會事務處内ニ圖書館ヲ開設スルヤ猶太民族ハ勿論「ソヴエート」露國人間ニ相當利用セラレツツアルヲ以テ館内所藏ノ圖書ニ對シテハ嚴重注意中ナルカ未タ思想上蓋シキモノヲ發見セズ

然ルニ河圖書館ニ對シ「ソヴエート」領事館ハ特ニ援助ヲ與ヘルト共ニ共産主義宣傳ニ利用セントシタル形跡アリ即チ本年四月以來支那官憲ハ「ソヴエート」露國ヨリ輸送シ來レル新聞雜誌其他發刊物ハ國境沿道ニ於テハ嚴重ナル檢閲ヲ行ヒ多少タリトモ思想上容疑アルモノハ容赦ナク沒收シ輸入ヲ禁止シ居ル爲「ソヴエート」國民ノ需メントスル書籍ハ殆ント入手出來サルヲ以テ以來之等ノ發刊物ハ各領事館ノ外交書類トシテ輸送シ居レルカ奉天勞農領事館ニ於テハ領事館内ニ圖書館ヲ設ケ領事館員、商業支部員及職業同盟會員タル猶太人等ニ閱讀セシメ之レカ人物ヲ通シテ一般ニモ讀マシメ民衆ノ迎合スル發刊物ヲ以テ思想ノ宣傳ニ努カシツツアル由ナルカ最近「ゲ」副領事ハ之等發刊物ヲ無代價ニテ繪太圖書館ニ提供シ一般ニ縱覽セシメ共産思想ヲ普及セシメント謀リタルモ猶太民會ハ日本官憲ノ嚴重ナル取締ヲ懼レ之ヲ拒絕シタリト云フ引續注意中。

S 13402 0175 0155 S 13402 0174 0154

亞細亞局長

第一課甲中

昭和參年壹月九日

接受

公第一三三〇號

昭和二年十二月三十日

在支那

特命全權公使 芳澤謙



別紙添附

歐米局

情報部

外務大臣男爵 田中義一 殿

612.00771

露國ノ赤化宣傳員支那派遣ニ關スル新聞
記事報告ノ件

本件ニ關シ本月二十九日ノ支那各新聞ハ官邊ノ消息或ハ宣傳部消息
トシテ別添譯文ノ如キ記事ヲ登載シ居レルカ右ハ張學良ノ山西方面
軍宣傳部ヨリ出タル由ナルモ時節柄御參考迄報告ス

本信寫送付先 上海 廣東

在北京日本公使館

(譯文)

露國伍渥林ヲ支那ニ派遣ス
(十二月二十九日北京日報記事)

(官邊消息) 露國ハ多大ノ金錢ノ犠牲ヲ惜マス支那ヲ以テ赤化實行
ノ試驗場トシ年來屢支那南北ノ政局ヲ煽惑シ工潮ヲ刺戟セリ是等ハ
何レモ失敗セリト雖露國ハ是等ノ事實短時日間ノ不幸事ニシテ將來
必ス原狀ニ恢復シ得ルモノト認メ居リ從テ若干ノ新分子ヲ派遣シテ
宣傳ヲ繼續スル要アリトシ莫斯科方面ニ於テハ最近又復多數ノ宣傳
員ヲ秘密裡ニ支那ニ派遣シ來リ共產主義鼓吹ノ事業ヲ繼續シ居レリ
彼等ノ首領ハ會テ佛國外交界ニ於テ極端ナル排斥ヲ受ケテ二年間巴里
ニ隱遁シ居リタル伍渥林ナリ伍ハ第三國際ノ密令ヲ受ケテ直ニ支那
ニ潛入セルカ其ノ任務ハ「ボロディン」ノ後ヲ襲フモノニシテ今次
來支ニ際シテハ巨額ナル金ヲ携へ來レリ右ハ支那ニ於ケル共產宣傳
費トシテ各方面ノ過激分子ニ分與スルモノナリ伍ハ凡テノ排英宣傳
機關殖民地革命運動等ノ團體組織ハ全部參加シ居リ且ツ多額ノ費用

在北京日本公使館



13402

0177

0157



13402

0176

0156